



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 矢作建設工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 1870 URL <https://www.yahagi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高柳 充広
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 経理部長 (氏名) 佐口 芳樹 TEL 052-935-2348
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有 補足資料を決算短信に添付しております。またIR資料として、別途「当社グループの経営現況について」をTDnetで同日開示しております。

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	41,495	△11.4	1,738	△20.4	1,775	△19.7	1,206	△23.5
2022年3月期第2四半期	46,852	1.3	2,184	△26.6	2,211	△27.7	1,577	△25.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,209百万円 (△27.0%) 2022年3月期第2四半期 1,656百万円 (△35.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	28.06	—
2022年3月期第2四半期	36.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	112,834	57,841	51.3
2022年3月期	116,423	57,532	49.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 57,841百万円 2022年3月期 57,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.00	—	21.00	38.00
2023年3月期	—	19.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	14.9	6,000	△2.7	6,000	△2.8	4,150	△14.3	96.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	44,607,457株	2022年3月期	44,607,457株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,598,691株	2022年3月期	1,612,091株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	42,999,833株	2022年3月期2Q	43,333,543株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、取締役に対する業績連動型株式報酬制度で設定した信託が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
受注及び販売の状況(連結)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の正常化が進んだことにより、持ち直しの動きが継続しました。しかしながら、地政学リスクや円安の進行等に起因する原材料価格の高騰やサプライチェーンへの影響が深刻化し、依然として景気は先行き不透明な状況が続きました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、民間設備投資や民間住宅投資では持ち直しの動きが見られたものの、建設資材の価格高騰や納期遅延等による影響を受けて、経営環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が41,495百万円（前年同四半期比11.4%減）、営業利益が1,738百万円（前年同四半期比20.4%減）、経常利益が1,775百万円（前年同四半期比19.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,206百万円（前年同四半期比23.5%減）となりました。

売上高の区分につきましては、完成工事高が35,715百万円（前年同四半期比16.2%減）、その内訳は建築工事が22,553百万円（前年同四半期比24.3%減）、土木工事が13,162百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。また、不動産の売買・賃貸事業、建設用資材販売事業、ゴルフ場経営事業等を内訳とする不動産事業等売上高が5,779百万円（前年同四半期比36.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産の残高は、売上債権の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,589百万円減少の112,834百万円となりました。

負債の残高は、短期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,898百万円減少の54,992百万円となりました。

純資産の残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ309百万円増加の57,841百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、20,464百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は4,580百万円（前年同四半期は4,732百万円の資金の獲得）となりました。これは主に売上債権の回収が進捗したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は586百万円（前年同四半期は2,014百万円の資金の使用）となりました。これは主に固定資産を取得したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は5,420百万円（前年同四半期は5,023百万円の資金の使用）となりました。これは主に借入金の返済を行ったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月10日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想につきましては、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	22,011	20,584
受取手形・完成工事未収入金等	32,351	28,497
電子記録債権	457	192
未成工事支出金	2,534	4,613
販売用不動産	19,884	19,987
商品及び製品	25	39
材料貯蔵品	452	650
その他	2,804	2,477
貸倒引当金	△86	△85
流動資産合計	80,435	76,957
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	14,661	14,722
機械、運搬具及び工具器具備品	3,345	3,395
土地	19,091	19,092
リース資産	103	99
建設仮勘定	55	72
減価償却累計額	△9,985	△10,235
有形固定資産合計	27,272	27,145
無形固定資産		
	390	380
投資その他の資産		
投資有価証券	5,298	5,303
退職給付に係る資産	244	246
繰延税金資産	1,844	1,876
その他	987	972
貸倒引当金	△49	△48
投資その他の資産合計	8,326	8,350
固定資産合計	35,988	35,876
資産合計	116,423	112,834

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,758	7,797
電子記録債務	3,635	5,098
短期借入金	25,400	21,000
未払法人税等	1,072	465
未成工事受入金	4,780	4,055
完成工事補償引当金	441	447
工事損失引当金	0	20
役員賞与引当金	70	45
その他	2,988	2,564
流動負債合計	45,148	41,495
固定負債		
長期借入金	5,000	4,900
再評価に係る繰延税金負債	221	221
退職給付に係る負債	4,864	4,894
資産除去債務	353	355
株式報酬引当金	49	63
その他	3,252	3,062
固定負債合計	13,743	13,497
負債合計	58,891	54,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,808	6,808
資本剰余金	7,244	7,244
利益剰余金	49,124	49,419
自己株式	△897	△886
株主資本合計	62,279	62,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,224	1,225
土地再評価差額金	△5,882	△5,882
退職給付に係る調整累計額	△90	△87
その他の包括利益累計額合計	△4,747	△4,744
純資産合計	57,532	57,841
負債純資産合計	116,423	112,834

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
売上高		
完成工事高	42,614	35,715
不動産事業等売上高	4,237	5,779
売上高合計	46,852	41,495
売上原価		
完成工事原価	38,010	31,712
不動産事業等売上原価	2,827	3,787
売上原価合計	40,838	35,500
売上総利益		
完成工事総利益	4,603	4,003
不動産事業等総利益	1,410	1,992
売上総利益合計	6,013	5,995
販売費及び一般管理費	3,829	4,257
営業利益	2,184	1,738
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	72	56
その他	32	32
営業外収益合計	106	89
営業外費用		
支払利息	71	42
その他	8	10
営業外費用合計	79	52
経常利益	2,211	1,775
特別利益		
投資有価証券売却益	105	—
特別利益合計	105	—
特別損失		
固定資産除却損	2	67
投資有価証券評価損	30	—
特別損失合計	32	67
税金等調整前四半期純利益	2,283	1,707
法人税、住民税及び事業税	752	545
法人税等調整額	△46	△44
法人税等合計	706	501
四半期純利益	1,577	1,206
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,577	1,206

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益	1,577	1,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	0
退職給付に係る調整額	14	2
その他の包括利益合計	78	3
四半期包括利益	1,656	1,209
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,656	1,209
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,283	1,707
減価償却費	420	459
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△2
受取利息及び受取配当金	△74	△56
支払利息	71	42
有形固定資産除売却損益(△は益)	2	67
売上債権の増減額(△は増加)	12,437	4,118
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,764	△2,393
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,826	2,501
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△213	△724
その他	△367	△20
小計	5,969	5,699
利息及び配当金の受取額	79	56
利息の支払額	△67	△42
法人税等の支払額	△1,248	△1,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,732	4,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,144	△592
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	—
その他	129	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,014	△586
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300	2,600
短期借入金の返済による支出	△4,000	△7,000
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△826	△100
自己株式の純増減額(△は増加)	△254	—
配当金の支払額	△737	△911
その他	△4	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,023	△5,420
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,305	△1,426
現金及び現金同等物の期首残高	21,951	21,891
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,646	20,464

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建築 セグメント	土木 セグメント	不動産 セグメント	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額(注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	29,799	13,146	3,905	46,852	—	46,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,913	50	141	3,105	△3,105	—
計	32,713	13,197	4,047	49,957	△3,105	46,852
セグメント利益	2,123	1,521	555	4,200	△2,016	2,184

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,016百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,711百万円及びセグメント間取引消去△304百万円を含んでおります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建築 セグメント	土木 セグメント	不動産 セグメント	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額(注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	22,532	13,528	5,434	41,495	—	41,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,577	158	127	2,863	△2,863	—
計	25,109	13,687	5,562	44,359	△2,863	41,495
セグメント利益	1,499	1,522	1,078	4,100	△2,362	1,738

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,362百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,123百万円及びセグメント間取引消去△238百万円を含んでおります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況(連結)

(1) 受注高

(単位:百万円)

区分		前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	比較増減		
				金額	率(%)	
工事	建築	官庁	—	—	—	—
		民間	7,474	17,444	9,969	133.4
		計	7,474	17,444	9,969	133.4
	土木	官庁	4,311	5,388	1,076	25.0
		民間	12,120	6,589	△5,530	△45.6
		計	16,432	11,978	△4,453	△27.1
	合計	官庁	4,311	5,388	1,076	25.0
		民間	19,594	24,034	4,439	22.7
		合計	23,906	29,422	5,516	23.1

(2) 売上高

(単位:百万円)

区分		前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	比較増減		
				金額	率(%)	
工事	建築	官庁	—	—	—	—
		民間	29,799	22,553	△7,246	△24.3
		計	29,799	22,553	△7,246	△24.3
	土木	官庁	4,203	4,819	615	14.6
		民間	8,611	8,343	△267	△3.1
		計	12,814	13,162	347	2.7
	小計	官庁	4,203	4,819	615	14.6
		民間	38,411	30,896	△7,514	△19.6
		小計	42,614	35,715	△6,898	△16.2
不動産事業等		4,237	5,779	1,541	36.4	
合計		46,852	41,495	△5,356	△11.4	

(3) 次期繰越高

(単位:百万円)

区分		前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	比較増減		
				金額	率(%)	
工事	建築	官庁	—	—	—	—
		民間	30,144	56,955	26,810	88.9
		計	30,144	56,955	26,810	88.9
	土木	官庁	9,426	10,510	1,083	11.5
		民間	18,978	16,569	△2,409	△12.7
		計	28,405	27,079	△1,325	△4.7
	合計	官庁	9,426	10,510	1,083	11.5
		民間	49,123	73,524	24,401	49.7
		合計	58,549	84,034	25,484	43.5